



◆153号線整備促進の取り組み
 問 幹線道路であり、生活道路でもある153号線について整備要望が出ているが取り組みの状況はどうか。(鈴木)

答 高出交差点から金井交差点間は21、22年度排水性舗装による全面改修が行われた。歩行者対策では歩行スペースの確保等関係機関への要望を継続し、調整を図っていく。

◆四沢川縁並橋から善知鳥峠については地元関係者等と検討しており、今後、道路管理者との協議、検討を行っていく。

◆通学路の安全対策を

問 通学時の事故状況はどうか。交通ルールを守っているにもかかわらず事故の危険性は高い状況である。子どもも保護者も不安・心配をかかえている。対策は。(山口)

答 横断中の事故が最も多い。



通学中の小学生

通学路の整備に関しては、学校、PTA、地区との連携協力を図る中で地区要望としての統一化をお願いしている。

観光地の整備促進を

◆漆サミットでの取り組み

問 本市で10月に開催されるジャパン(漆)サミットでの来場者への塩尻の宣伝と、市民向け参加内容は。(丸山)

答 10月をサミット月間とし、漆器を使った展示や市民向け講座を開催する。全国からの関係者が塩尻の特産や観光地を体験する企画を予定し、今後実行委員会でご話していく。



市特産の木曾漆器

◆魅力ある観光をつくる
 問 観光資源であるみどり湖



周辺の整備が求められるみどり湖

周辺の整備や維持管理は行政だけでは無理。地区住民のご協力を得ては。(宮田)

答 地元と協議しながら官民協働の維持管理を研究する。

問 案内看板の傷みがひどい。設置だけで終わらず、継続的な管理が必要では。(宮田)

答 台帳にしておらず、維持管理のため早急に検討する。

問 策定から6年が経過した塩尻市観光振興ビジョンの進捗を検証すべき。(宮田)

答 現状と課題を検証し、今後の事業展開に反映する。

◆観光協会について

問 観光課長が協会の専務理事を兼務するのは問題ではないか。法人格を取得し、独立する方が良いのでは。(宮田)

答 資金・人的面で余裕があれば望ましいが、当面無理。有識者と研究する。

地域経済の活性化を

◆住宅リフォーム補助事業
 継続を

問 市民や地元業者からは補正予算で対応して欲しい、又来年度以降も事業継続を要望されているが。(古畑)

答 本年度の補正及び来年度の事業継続については制定時に期間を2年と定めているので今年度で終了する。

問 要望が多く、経済効果もあるので継続を要請する。(古畑)

◆リフォーム補助来年も

問 今年度の申請はわずか10日で予算額に達した。地域業者、市民要望の高い施策で地域への経済効果は10倍にも上



リフォーム中の住宅